

前回調査との比較について

資料 1 - 5

令和元年度 設問番号	調査内容	新調査票 (R4年度)	前回調査との 比較可否	備考 (R4年度での聞き方など)
問1	この調査票を記入される方は、ご本人から見て、どなたにあたりますか。ご本人から見た続柄等でお答えください			前回調査では、本人90.8%、無回答4.7%、配偶者2.9%となり、ほかの選択肢（子、兄弟姉妹、福祉関係職員）は合わせて1.5%にとどまった。そのため新調査票においては、表紙に「できるだけご本人による回答をお願いします」と記載することとし、ほぼ本人の回答であるとみなし、集計することとした
問2	ご本人の性別をお答えください	問1	○	
問3	ご本人の年齢をお答えください	問2	○	
問4	世帯の状況は、次のどれですか	問4(1)	○	
問5	現在お住まいの中学校区をお答えください			調査区域の管理番号を調査票に記入する予定。
問6	健康状態をどのように感じていますか	問11(1)	△	現在のあなたの健康状態はいかがですか（国必須項目） 選択肢の表現が異なる。
問7	日常生活の状況について、該当する番号に○をつけてください			手段的日常生活動作IADL（Instrumental Activities of Daily Living）に関する国必須項目で代替し分析する予定。※1
	1 歩くことは一人でできますか			
	2 食事は一人で食べることができますか			
	3 トイレは一人でできますか			
	4 お風呂は一人で入れますか			
	5 着替えや洗顔、歯磨きなどは一人でできますか			
	6 買い物は一人でできますか	問7(3)	△	自分で食品・日用品の買物をしていますか（国必須項目） 選択肢の表現が異なる。
	7 調理は一人でできますか	問7(4)	△	自分で食事の用意をしていますか（国必須項目） 選択肢の表現が異なる。
	8 洗濯や掃除は一人でできますか			※1と同じ
	9 バスや電車などは一人で利用できますか	問7(2)	△	バスや電車を使って一人で外出していますか（国必須項目） 選択肢の表現が異なる。
	10 電話は一人でかけることができますか			※1と同じ
11 金銭の管理は一人でできますか	問7(5),(6)	△	自分で請求書の支払いをしていますか・自分で預貯金の出し入れをしていますか（国必須項目） 質問の仕方及び選択肢が異なる。	
問8	現在の生活の中で、どのようなことに楽しさや生きがいを感じていますか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用
問9	現在、仕事をしていますか	問8(1)⑧	△	収入のある仕事（国必須項目）R1調査では「収入のある」という表現がない。
問10	今後、仕事をしたい（続けたい）と思いますか	問8(2)	△	今後、収入のある仕事をしたい（続けたい）と思いますか。R1調査では「収入のある」という表現がない。
問11	社会参加についておたずねします。次のような会・グループ等に1回以上参加していますか。	問8(1)	○	どのくらいの頻度で参加していますか（国必須項目）
問12	地域活動や福祉活動に参加しやすくするために必要だと思うことは、次のうちどれですか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問13	今後、少子高齢化がさらに進むことが予想されますが、その中で、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されます。そのような中、地域社会にどのような形で貢献してみたいと思いますか			新調査票の問9「地域での活動について」と内容が類似しているため、不採用。
	1 貢献してみたい →その理由			
	2 特に何もする考えはない →その理由			
問14	毎日の生活で不安を感じていることは、次のうちどれですか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問15	普段どの程度外出していますか	問5(6)	△	週に1回以上外出していますか（国必須項目） 選択肢のうち「ほとんど外出しない」については比較可能
	1 普段どのような方法で外出しますか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、国必須項目の2項目（頻度・目的）のみ設定することと
	2 普段どのような目的で外出しますか	問5(7)	○	
	3 外出の際、お困りになることは次のうちどれですか			

	4	外出しない理由は次のうちどれですか				した。
問16		どれくらいの頻度で食品や日用品の買い物に行っていますか				新調査票に問6(6)外出頻度、(7)外出目的を設定しており、買い物だけの頻度を問う本項目については、内容が細かすぎるため、不採用
問17		食品や日用品など生活に必要な物資をどのような手段で入手していますか				回答者の負担軽減(回答率維持)の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問18		普段の生活でインターネットやスマートフォン等をどの程度活用していますか	問16	△		選択肢を微修正(Twitter, LINE, Instagramを文言に追加)
問19		近所の方との程度お付き合いがありますか				国必須項目として新調査票問10に「たすけあいについて」を設定。(1)~(5)に「近隣」等の選択肢があるため、本項目は不採用とした。
問20		現在のお住まいは、次のうちどれですか	問4(6)	△		国オプション項目を設定。選択肢の内容が異なるが、持ち家(一戸建て)、持ち家(集合住宅)など主なものについては比較可能。
問21		現在お住まいの住宅に関して困っていることはありますか				回答者の負担軽減(回答率維持)の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問22		介護が必要になったら現在お住まいの所からの住み替えを希望しますか				
問23		ご本人の年間総収入(年金、仕送りなども含みます。)の額は、およそどれくらいですか				
問24		ご本人も含めた世帯全員の年間総収入(年金、仕送りなども含みます。)の合計額は、およそどれくらいですか				
問25		ご本人の保険料段階は、次のうちどれですか				
問26		現在の保険料額を、どのように感じていますか				
問27		現在のご本人の保険料段階として、妥当と考える保険料の額は、ひと月あたりどのくらいの額ですか				
問28		介護保険料の基準額は、介護サービスをどれだけ利用したかによって決まります。よって、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどしてサービスの利用が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか				介護保険料に関する項目は、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に含まれず、本調査に取り入れた場合、項目数の問題から、他の項目を大幅に削除する必要があり、他の項目の方が優先順位が高いと判断し、不採用した。
問29		介護保険制度では、基本的なサービスの水準を国が定めています。但し、仙台市の判断でその他のサービスを保険給付の対象に加えたり、サービスの利用限度額を高く設定することができます。ただしこの場合、必要な費用は全額65歳以上の方の保険料でまかなうことになるため、皆様からいただく保険料が高くなります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか				
問30		介護保険制度の仕組みなどについて、どの程度ご存知ですか				
問31		介護が必要となった場合、主にどのような介護サービスを使いたいと思いますか				
	1	問31の介護サービスを選んだ理由は、次のうちどれですか				
問32		介護保険制度のサービスを使うことによって、利点があると思われる点は何ですか				介護保険制度に関する項目は、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に含まれず、本調査に取り入れた場合、項目数の問題から、他の項目を大幅に削除する必要があり、他の項目の方が優先順位が高いと判断し、不採用とした。
問33		介護保険制度のサービスについて、不十分だと思われる点は何ですか				
問34		地域包括支援センターについて知っていますか	問15(1)	○		
	1	ご本人やご家族のことに、地域包括支援センターを利用したことがありますか	問15(1)	○		一つの項目に集約した。
問35		地域包括支援センターに今後どのようなことを期待しますか	問15(2)	○		
問36		日常生活の不便さを解消するために、現在利用しているサービスはありますか				新調査票の問18の利用意向のみとした。
問37		日常生活の不便さを解消するために、今後利用してみたい(引き続き利用したい)と思うサービスはありますか	問17	○		

問38		訪問介護（ホームヘルプサービス）で提供されるサービスのうち、資格職であるホームヘルパーではなく、地域のボランティアやお住まいの近くのNPO等による支援でも良いと考えるサービスは何ですか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問39		自宅の中に閉じこもりがちにならないためには、どのような通いの場（サロン、茶話会、サークルなど）があればよいと思いますか	問8(6)	○	
問40		親族・知人以外の高齢者の身の回りの世話や生活のお手伝いをする仕事やボランティア活動に取り組んでみたいと思いますか	問10(1)	○	
	1	どのような活動をしている、または取り組む予定ですか	問10(2)	○	
	2	報酬はどの程度を期待しますか			取り組みの意向及び内容については、新調査票の問(1),(2)で調査予定。報酬などの項目については細かいいため、重要度が低いと判断し不採用。
	3	どのようなきっかけがあれば取り組んでみますか			
	4	取り組んでみたいと思わない理由は何ですか			
問41		介護保険以外の高齢者福祉サービスを利用するにあたって、一定程度の利用者負担金を頂いている場合がありますが、この利用者負担金について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか			前回調査では、最も多い回答が「わからない」であり、46.5%の選択率だった。
問42		「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか			「介護予防」は一般的な言葉になりつつあるとともに、他の項目と比較し、重要度が低いと判断し不採用。
問43		介護予防について、何か取り組んでいることはありますか	問12(1)	○	健康づくりについて、何か取り組んでいることはありますか
	1	介護予防として現在取り組んでいることは何ですか	問12(2)	○	健康づくりとして現在取り組んでいることは何ですか。 選択肢にスマホ・タブレットでのアプリの活用を追加
	2	介護予防について、取り組まない理由は何ですか			回答者の負担軽減（回答率維持）のため、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問44		いつまでも自立していきいきと生活するには、介護予防に取り組むことが重要となります。今後仙台市に力を入れて欲しい取り組みは、次のうちどれですか	問12(3)	○	いつまでも自立していきいきと生活するには、健康づくりに取り組むことが重要となります。今後仙台市に力を入れて欲しい取り組みは、次のうちどれですか 選択肢に「就労支援」を追加
問45		認知症の人と接する機会の有無についてお聞きします。あなたは認知症の人と接したことがありますか			国必須項目として新調査票問14(1)に本人または家族のみ問う内容に変更
	1	（認知症の人と接した）経験があるものを選んでください			
問46		認知症に対してどのようなイメージを持っていますか	問13(3)	○	
問47		もしあなた自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。または、ご自身が認知症の方は、どのようなことに不安を感じていますか			認知症に対する不安をあおりかねない内容であるため、不採用。
問48		もしあなたの家族が認知症になったら、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。認知症のご家族がいる方は、どのようなことに不安を感じていますか			
問49		認知症になっても安心して生活するには、どのようなことが必要と考えますか	問13(4)	○	
問50		今後、高齢者の増加にともない、介護が必要な方も増えていく中で、本人の希望に沿いながら、できるだけ在宅で暮らしていただけるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか	問14	○	
	1	より具体的な内容がございましたら、次の枠内にお書きください			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。

問51	ご本人に関する健康や福祉の情報は、どこから得ていますか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。 なお、前回調査では「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書」が同一の選択肢となっており46.5%、続いて「市政だより」が37%。新調査票に採用し、施策に活用するとしても、メディアや、市政だよりが重要であるといった結果となる見込み。
問52	あなた自身になにか困りごとや悩みごとがあったときに相談する相手はどなたですか	問9(1)	×	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（国必須項目） 選択肢が異なり比較不可。
問53	最近、高齢者に対する虐待についての関心が高まっております、その防止のための取り組みが必要となっています。高齢者に対する虐待が起きないための取り組みとして必要だと思うことは、次のうちどれですか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問54	孤立死について、どのように考えますか			関係する設問として、新調査票の問10(5)の「地域で安心して暮らすために」と問19(1),(2)の終活に改編。
問55	孤立死を防ぐためにどのようなことが有効だと思いますか	問9(5)	○	地域で安心して暮らすために必要だと思うこと
問56	地震などの災害が起きた場合、誰に安否確認をしてもらいたいですか			回答者の負担軽減（回答率維持）の観点から、調査項目を約70問とするために精査した結果、不採用。
問57	近年、人生のエンディングに向けた準備を行う「終活」という取り組みが行われるようになっていますが、あなたは今後「終活」を行う予定がありますか	問18(1)	○	(2)として「どのような終活を行っていますか、または行う予定ですか」を追加。
問58	自由記述欄	問20		